

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 城山れんげの里

公表日 2025年2月24日

利用児童数

16

回収数

12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10	2				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	1		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		3		9		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3		4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	1		2		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3		6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1		6		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8			4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9	1		2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10	1	1		毎回とても楽しみに通っています。先生方も親身に対応してくださり、本人も安心できている場所の一つになっているようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12					

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		城山れんげの里					公表日	2025年2月24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		構造上動線対策が必要だが工夫している。法令を遵守したスペースを確保している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	配置基準は満たしているが、活動の質を向上するためさらなる人員を募集している。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		バリアフリーの環境であり、多目的トイレも設置している。児童専用のトイレではないため改修も検討している。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育前には消毒し定期的に掃除を行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		多くの部屋があり必要に応じて使用することができる。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員全員で療育前に打ち合わせ、療育後に振り返りを実施し定期的に職員ミーティングを実施している。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの意向や要望を基に業務改善につなげている。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		適宜意見を交わすようにしており、アンケートボックスも設置している。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後必要に応じて第三者による外部評価の実施を検討していきたい。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		内部の勉強会・講習は不定期に実施している。専門誌を定期購読し、支援に活かしている。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成し公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		適時アセスメントを行い、保護者から聞き取ったニーズや課題と合わせて計画を作成している。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月個別支援会議を実施しすべてのスタッフの意見を出し合い、検討し作成している。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画をすべてのスタッフと作成しているため共有できている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		事業所内で統一したアセスメントツールを使用している。				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		振り返りやミーティングを行い、プログラムの内容や子どもたちの様子を共有、議論し、個別的な課題に応じた支援を提供している。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動プログラムは個別の課題に応じてその都度計画をしている。				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		アセスメントを基に優先順位をつけて目標設定した支援計画を立てており、支援計画の目標や方法を踏まえた活動を準備している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には職員全員で打ち合わせを行い、主軸とサブの職員の動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援し終了後には職員全員で振り返りを行い、子どもの様子等について共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回記録を取り、振り返りやモニタリング時に支援内容を見直している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		毎回の療育後に振り返りを行い、定期的にモニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		複数の職員が児童一人一人とかわかって状態を把握しておりチームでの支援をおこなっているが、その中で最も適当と思われるものが参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携し支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		先生や保護者からの要望に応じて、相互の見学等を行い、子どもの様子を情報共有できるようにしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて連絡を取るなど、情報共有をできるように努めている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○			
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		さらなる連携を進めていきたいと考えている。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	利用頻度が週1回の為、当事業所では実施していない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		保護者送迎時に子どもの状況を確認し、共有理解できるよう努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		LINEなど活用し希望に応じてその都度相談に乗っている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時にご説明するとともに事業所内に掲示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		子どもや保護者の意志を確認し計画に反映している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		書式を確認してもらいサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		主に来所時や面談にて相談を受けている。必要に応じて事業所内相談支援、関係機関連携等を行っている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		以前は座談会を設定し保護者同士の情報交換会の場を設けていたがコロナウィルスの流行に伴い感染対策を優先し実施できていない。再度再開するか検討中である。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情受付窓口、第三者委員会の連絡先を伝え周知している。また、常時事業所内に連絡先を掲示している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		法人としては広報紙を定期的に発行しているが、児童の取り組み内容等を発信できるように検討していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管している。デジタルデータはセキュリティ付き専用サーバーを使用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		1人1人に応じた視覚的情報などを準備して意思疎通とわかりやすいように工夫した支援を行っている。保護者とは利用ごとに様子を報告し意思疎通が図れるように配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		例年法人の祭りや実践報告会を実施している。直近はコロナウィルスの流行により実施できていないものもある。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故発生時。緊急時マニュアル、感染症予防マニュアル・災害対応マニュアルを閲覧できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		職員中心に定期的に避難訓練を実施し、非常時に備えている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		毎年提出してもらっている利用登録票に服薬や既往歴について記載していただき、さらに利用時に体調に変化がないか確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		すべての児童にアレルギーの有無は確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		作成した安全計画に基づき実施している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		作成した安全計画に基づき実施しているが、さらなる周知が必要であると考えている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起こった際には、早急にヒヤリハット報告書を作成し職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内研修の実施の他、適宜研修に参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束を行う場面はほとんどないが職員が危険だと判断した際は別の空間でクールダウンをする為移動することはある。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	城山れんげの里			
○保護者評価実施期間	R7年 1月 20日		～	R7年 2月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1 6 人	(回答者数)	1 2 人
○従業者評価実施期間	R7年 1月 20日		～	R7年 2月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月11日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の希望を含んだプログラムを提供	児童からの要望を積極的にプログラムに取り入れていれるために、スタッフ間で情報共有を行っている	取り組み内容の振り返りを継続し、より質を高めていくこと
2	少人数グループでの利用（スタッフ2～3名に対して児童4～5名）	少人数グループで個別に関わることで児童・スタッフ共にリラックス状態で関われるように工夫している	活動内容と場面切り替えを工夫することでより充実した取り組みが出来るようにスタッフのスキルを向上していくこと
3	活動スペースが充実している	場所と目的を明確にすることで分かりやすい環境を整えるように工夫している	個室などクールダウンできる場所や切り替えの出来る場所の確保すること

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数のスタッフで運営している為、スタッフが体調不良などで休むと開所出来ない可能性がある	求人を継続しているが、確保ができていない	研修の充実と働きやすい環境の向上 利用日の調整などの工夫
2	スペースが大きいことによる維持管理の負担が大きい	トイレの場所が活動場所から離れている為、移動と見守りに時間がかかる 一部の設備の老朽化	スタッフの増員もしくはトイレの増設 計画的に入れ替え・改修を行っていく
3			